

令和5年(2023年)12月28日(木曜日)

絶滅危惧種ミシマバイカモの群生地「三島梅花藻の里」(三島市南本町)を管理するNPO法人グラウンドワーク三島は27日、約3年ぶりに竹垣を新調した。劣化が激しかったため、新年を心新たに迎えられるよう整備した。

湧水池の周り約30㍍に高さ1㍍の竹垣を設置した。「千年の森づくり」と題して環境再生活動に取り組む松毛川の放置竹林で伐採した竹約150本を使用し、組み立てた。

ミシマバイカモは清流のバロメーターとされる水中花。市内の

## 竹垣 装い 新た 三島 梅花 藻の 里



湧水河川に多く自生していたが、1960年ごろから湧水減少や水質悪化により消えたため、GW三島

が1995年から湧水池を借り、保護、育成、増殖に取り組んでいる。

竹垣を新調するメンバー  
三島市南本町の三島梅花藻の里